

九州大学寄附講座及び寄附研究部門規則

平成16年度九大規則第85号
制 定：平成16年 4月 1日
最終改正：平成31年 3月29日
(平成30年度九大規則第80号)

(趣旨)

第1条 九州大学(以下「本学」という。)における寄附講座及び寄附研究部門の実施については、この規則の定めるところによる。

(目的)

第2条 寄附講座及び寄附研究部門の設置及び運営は、奨学を目的とする民間等からの寄附を有効に活用し、本学の自主性及び主体性の下に本学における教育研究の進展及び充実に資することを目的とする。

(定義)

第3条 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 寄附講座 講座において行われる教育研究に相当するものを実施するもので、民間等からの寄附により教員給与、研究費、旅費等その運営に必要な経費等を賄うものをいう。
- (2) 寄附研究部門 研究部門において行われる研究に相当するものを実施するもので、民間等からの寄附により教員給与、研究費、旅費等その運営に必要な経費等を賄うものをいう。
- (3) 部局 各学府、各研究院、各学部、基幹教育院、各附置研究所、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、エネルギー研究教育機構、アジア・オセアニア研究教育機構、各学内共同教育研究センター、各先導的研究センター、情報基盤研究開発センター、学術研究・産学官連携本部及び教育改革推進本部をいう。
- (4) 部局長 前号に規定する部局の長をいう。

(名称)

第4条 寄附講座及び寄附研究部門(以下「寄附講座等」という。)には、当該寄附講座等における教育研究の内容を示す名称を付するものとする。

- 2 寄附講座等の名称について、寄附者から申出があった場合には、寄附者が明らかとなるような名をそれに付することができる。

(設置の申請)

第5条 部局長は、寄附講座等の設置に係る経費等の寄附の申込みがあったときは、本学の教育研究を進展及び充実させるため有益と認める場合には、教授会又はそれに代わる機関の議を経て、その設置を総長に申請するものとする。

- 2 前項の申請に当たっては、次の各号に掲げる書類を提出するものとする。

- (1) 寄附申込書(別記様式第1号)
- (2) 寄附講座の概要(別記様式第2号)又は寄附研究部門の概要(別記様式第3号)
- (3) 担当教員の履歴書(別記様式第4号)及び就任承諾書(別記様式第5号)

- 3 部局長は、第1項の寄附講座等の設置の申請に当たって、寄附講座等の安定的な運営に資する観点等から、寄附者に係る情報を確認するものとする。

(変更の届出等)

第6条 部局長は、寄附講座等の内容を変更するときは、速やかに総長に届け出なければならない。

(学内への公表)

第7条 総長は、寄附講座等が設置されたときは、学内に公表するものとする。

(存続期間等)

第8条 寄附講座等の存続期間は、原則として2年以上5年以下とする。

- 2 寄附講座等の存続期間は、更新することができる。更新の手続は、設置の例による。

(成果の公表)

第9条 寄附講座等の存続期間が終了したときは、当該部局の定めるところにより、その教育研究の成果の概要をとりまとめ、公表するものとする。

(寄附講座等の構成等)

第10条 寄附講座等は、少なくとも教授又は准教授1人及び准教授又は助教1人の教員で構成するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、寄附講座等は、寄附講座等の目的である教育研究の実施上特に支障がないと認められる場合には、教授又は准教授1人の教員で構成することができる。

3 寄附講座を担当する教員の名称は、寄附講座教員とし、寄附研究部門を担当する教員の名称は、寄附研究部門教員とする。

(寄附講座教員等の雇用等)

第11条 前条第3項の寄附講座教員及び寄附研究部門教員(以下「寄附講座教員等」という。)の雇用等について必要な事項は、総長が別に定めるところによる。

(寄附講座教員等の職務)

第12条 寄附講座教員等は、当該寄附講座等における教育研究に従事するほか、当該寄附講座等における教育研究の遂行に支障のない範囲内で、その他の授業又は研究指導を担当することができる。

(経費の受入れ)

第13条 寄附講座等の設置に係る経費の寄附は、その存続期間に係る総額を一括して受け入れることを原則とする。ただし、継続して受入れが確実であるときは、年度ごとに必要な経費を分割して受け入れることができる。

2 前項の寄附講座等の設置に係る経費は、国立大学法人九州大学寄附金取扱規程(平成16年度九大会規第6号)に定めるところにより寄附金として受け入れるものとする。

(特許等の取扱い)

第14条 寄附講座教員等が行った発明に係る特許等の取扱いについては、九州大学知的財産取扱規則(平成16年度九大規則第93号)の定めるところによる。

(雑則)

第15条 この規則に定めるもののほか、寄附講座等の運営について必要な事項は各部署長が定め、総長に届け出るものとする。

附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年度九大規則第114号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成19年度九大規則第55号)

この規則は、平成20年2月21日から施行する。

附 則(平成22年度九大規則第44号)

この規則は、平成22年11月1日から施行する。

附 則(平成22年度九大規則第68号)

この規則は、平成22年12月1日から施行する。

附 則(平成23年度九大規則第46号)

この規則は、平成23年10月1日から施行する。

附 則(平成24年度九大規則第82号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年度九大規則第116号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年度九大規則第57号)

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

附 則(平成28年度九大規則第75号)

この規則は、平成29年1月1日から施行する。

附 則(平成29年度九大規則第34号)

この規則は、平成29年11月1日から施行する。

附 則(平成29年度九大規則第64号)

この規則は、平成30年2月1日から施行する。

附 則（平成30年度九大規則第80号）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

別記様式第1号(第5条関係)

寄 附 申 込 書

年 月 日

九州大学総長 殿

個人又は民間機関等の長 印

下記のとおり寄附講座等の設置に係る経費等の寄附を申し込みます。

記

1 寄附講座等名

2 設置目的

3 寄附講座等の設置期間

4 寄附講座等の運営経費等

(例) 寄附講座等の運営に必要な一切の経費(教員の給与、研究費、旅費、研究設備等)を寄附金により負担する。

5 寄附金額

総額 円

6 寄附の方法

別記様式第2号(第5条関係)

寄 附 講 座 の 概 要

- 1 大学名(研究院等名)
- 2 寄附講座の名称
- 3 寄附者
- 4 寄附者の概要
- 5 寄附金額(施設設備等を併せて寄附する場合はその概要)
- 6 寄附の時期及び期間
- 7 寄附金の使途
- 8 寄附方法
- 9 担当教員名及び職名
- 10 寄附講座の教育研究領域の概要(カリキュラムを含む。)
- 11 現有組織の構成状況及びそれらに照らした寄附受入れの必要性
- 12 本学との受託研究、共同研究等の取組の有無について(検討予定を含む。)

別記様式第3号(第5条関係)

寄附研究部門の概要

- 1 大学名(研究所等名)
- 2 寄附研究部門の名称
- 3 寄附者
- 4 寄附者の概要
- 5 寄附金額(施設設備等を併せて寄附する場合はその概要)
- 6 寄附の時期及び期間
- 7 寄附金の使途
- 8 寄附方法
- 9 担当教員名及び職名
- 10 寄附研究部門の研究目的及び研究課題
- 11 現有組織の構成状況及びそれらに照らした寄附受入れの必要性
- 12 本学との受託研究、共同研究等の取組の有無について(検討予定を含む。)

別記様式第4号(第5条関係)

担 当 教 員 の 履 歴 書			
ふりがな 氏 名	男・女		本籍地
生年月日(年齢)	年 月 日生(歳)	現住所	
学 歴			
年 月	事 項		
職 歴			
年 月	事 項		
学会及び社会における活動等			
年 月	事 項		
賞 罰			
年 月			
上記のとおり相違ありません。			
年 月 日		氏 名	印

(注)

- 1 「学歴」の欄には、大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴を有する者は、これらの学歴のすべてについて記入し、その他の者は、最終学歴について記入すること。なお、学位、称号等についても同欄に記入すること。
- 2 「職歴」の欄には、職歴のすべてについて記入し、職名、地位等についても明記すること。
- 3 「学会及び社会における活動等」の欄には、本人の専攻、研究分野等に関連した事項についてのみ記入すること。

別記様式第5号(第5条関係)

就 任 承 諾 書

年 月 日

九州大学総長 殿

氏 名

印

私は、九州大学〇〇〇〇〇〇〇〇寄附講座設置の上は、当該寄附講座担当の教員として 年 月 日から就任することを承諾します。

(注) 寄附研究部門については、これに準じて作成すること。